

12. 先生のご勤務になられておられる施設の病床数を教えてください。

300床以上 100-299床 20-99床 1-19床 無床

13. 大学病院ですか。

はい いいえ

14. 臨床研修指定病院ですか。

はい いいえ

15. この1年間に胃潰瘍の診療に直接携われましたか。

なし→以降の質問にお答え頂かなくて結構です。

あり→以降の質問にお答え下さい(御不明の箇所は未記入でも結構です)

16. 1年間での胃潰瘍診療症例数はどのくらいありますか。

1-10例 11-20例 20例以上

17. 最後にガイドラインについてのご意見がございましたら自由にご記入下さい。

--

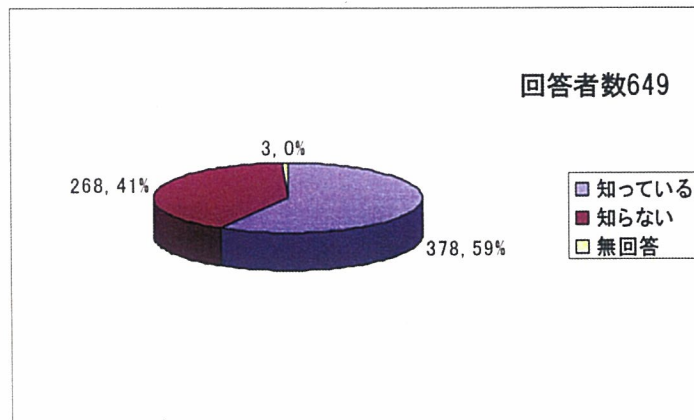
★★★★★長時間調査にご協力いただき有り難うございました。★★★★★

今後の胃潰瘍診療ガイドライン改定の参考資料として活用させていただきます。

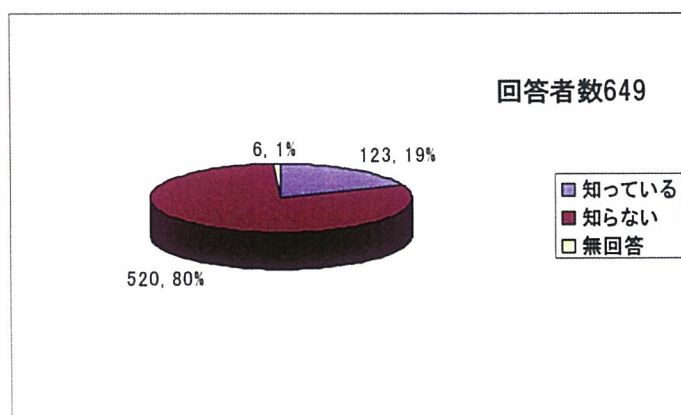
終了・
送信

参考資料5. 第1回アンケート結果(結果は必ずしも質問順となっていない)。

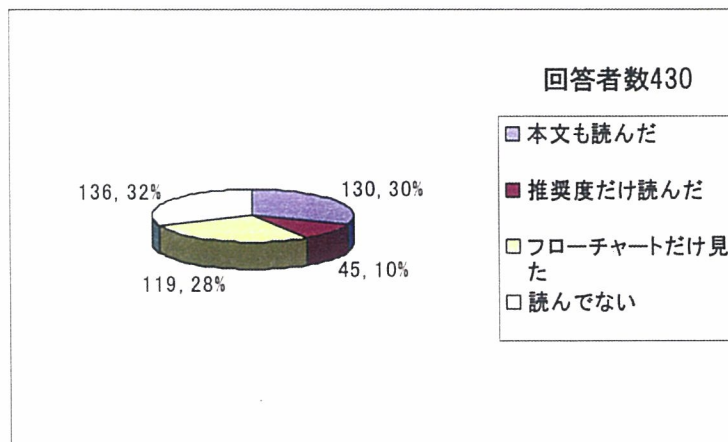
1. 「EBMに基づく胃潰瘍診療ガイドライン」(じほう社2003年) 以下、「胃潰瘍診療ガイドライン」と略)が出版されているのをご存知ですか。



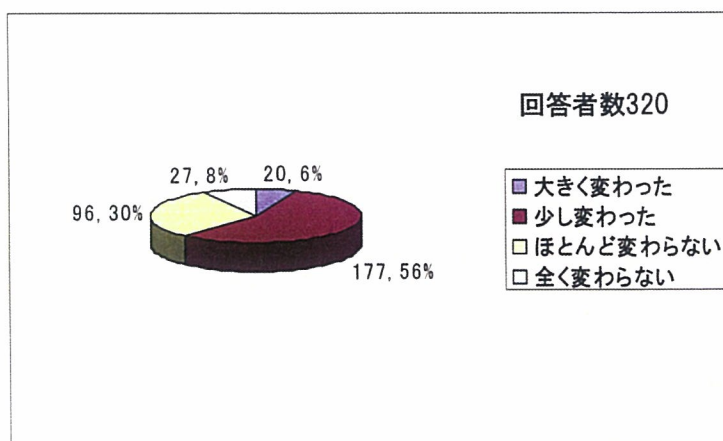
2. 「胃潰瘍診療ガイドライン」が日本医療機能評価機構のホームページで公開されているのをご存知ですか。



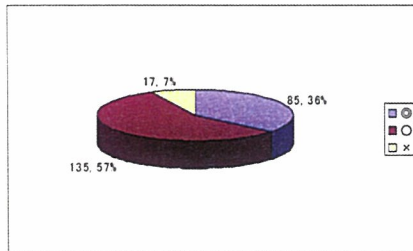
3. 「胃潰瘍診療ガイドライン」を書籍または日本医療機能評価機構のホームページ等でご存知のかたにお尋ねします。
「胃潰瘍診療ガイドライン」をお読みになったことがありますか？



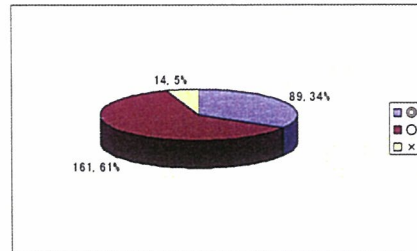
4. 上記で、「胃潰瘍診療ガイドライン」を少しでもお読みになった方にお尋ねします。
「胃潰瘍診療ガイドライン」によって胃潰瘍の診療内容が変化しましたか？



5-1. ガイドラインの内容で、特に有用であった項目に◎、有用であった項目に○、実地臨床では用いていない項目に×を選択して下さい。また、コメントがあれば、その内容を下欄にご記入下さい。

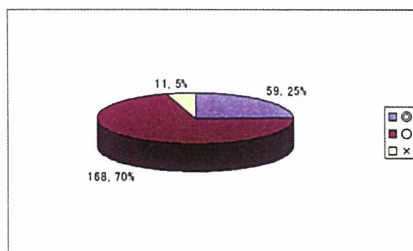


推奨度
回答者数237

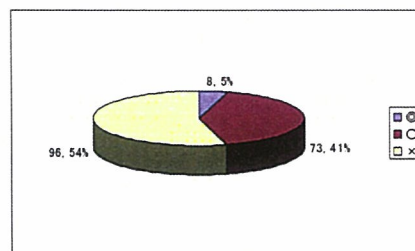


フローチャート
回答者数264

5-2. ガイドラインの内容で、特に有用であった項目に◎、有用であった項目に○、実地臨床では用いていない項目に×を選択して下さい。また、コメントがあれば、その内容を下欄にご記入下さい(続き)。

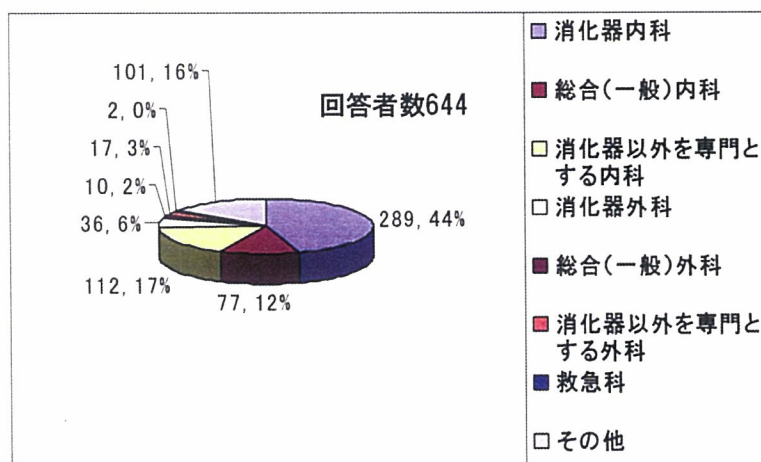


治療
回答者数238

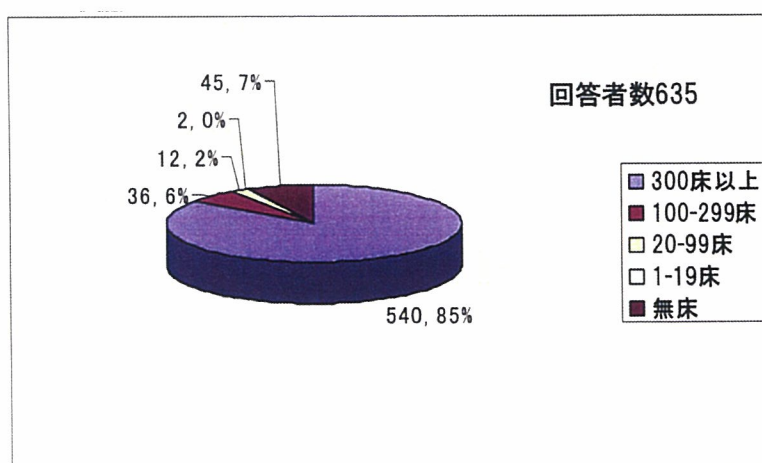


文献
回答者数177

6. 先生の専門とする診療科についてお教えてください。

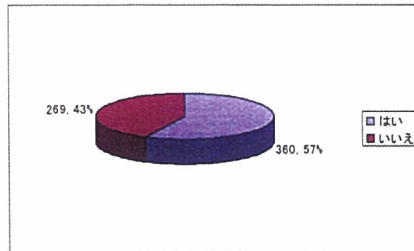


7. 先生のご勤務になられておられる施設の病床数を教えてください。

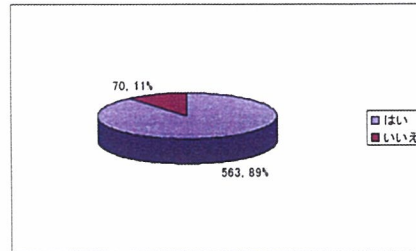


8. 回答者の施設の状況

大学病院かどうか
回答者数629

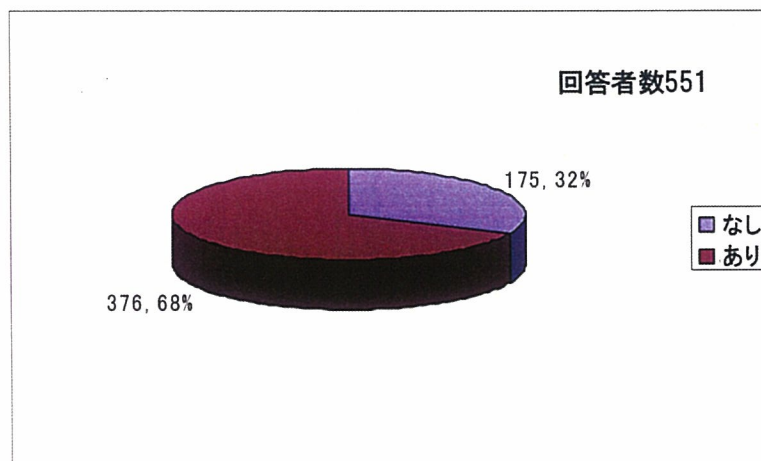


臨床研修指定病院かどうか
回答者数633



9. この1年間に胃潰瘍の診療に直接携われましたか。

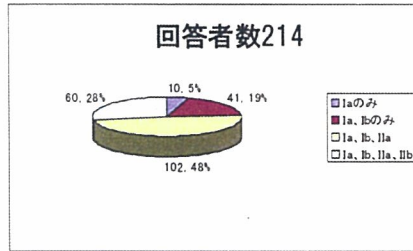
回答者数551



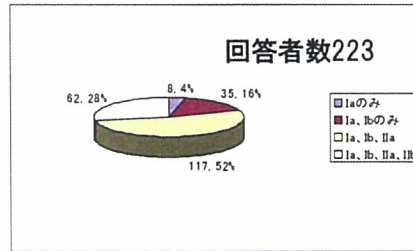
10. お手数ですが、「胃潰瘍診療ガイドライン」出版(2003年4月)の前後での先生方の胃潰瘍診療内容の変化につきご回答下さい。
 なお、「以前」はガイドライン出版前の、「現在」は現在の診療です。
 当てはまるものをチェックして下さい。
 お分かりにならない箇所は「分からない」を選択して下さい。
 (分からないの回答1名を除いた結果)

a. 出血性胃潰瘍の内視鏡的止血治療の対象はどれに該当しますか。

以前
Forrest分類



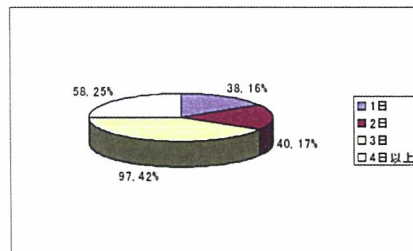
現在
Forrest分類



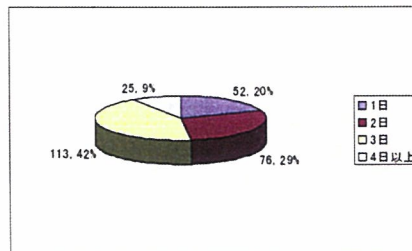
b. 出血性胃潰瘍の内科治療についてうかがいます。

① 絶食期間はどのくらいですか。

以前
回答者数328

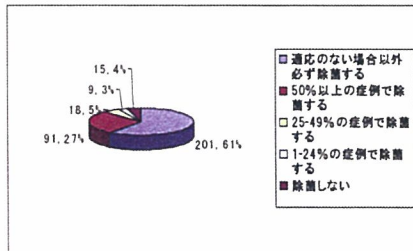


現在
回答者数345

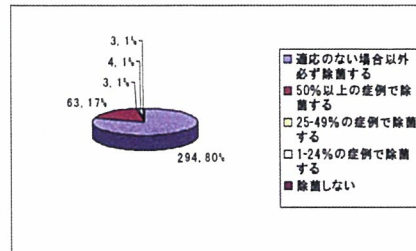


② *H. pylori*陽性の出血性胃潰瘍の再出血予防についてうかがいます。

以前
回答者数335

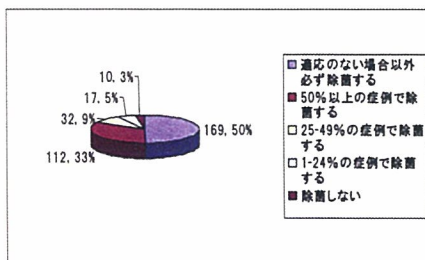


現在
回答者数368

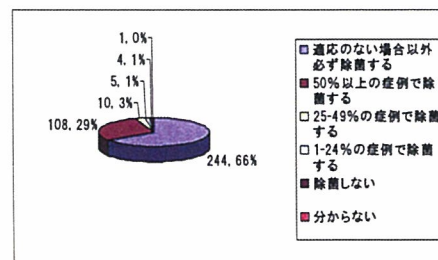


c. *H. pylori*陽性胃潰瘍の場合の除菌治療についてうかがいます。

以前
回答者数341



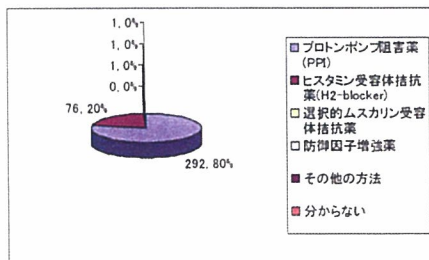
現在
回答者数372



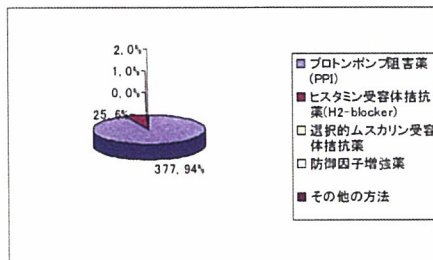
d. 非除菌治療

① 第1選択薬(治療)として何を使われますか。

以前
回答者数371



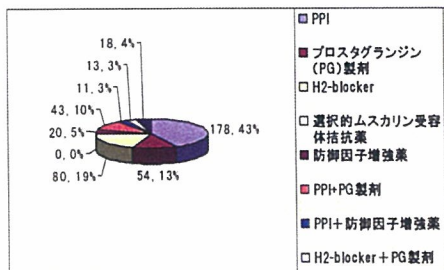
現在
回答者数183



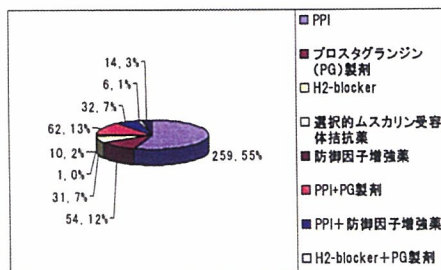
e. NSAID胃潰瘍治療についてうかがいます。

① NSAIDの中止が不可能な場合の治療はどうされていますか。(複数選択可)

以前
回答数418



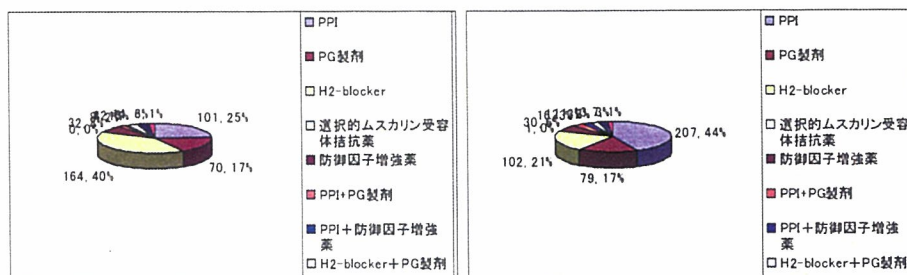
現在
回答数470



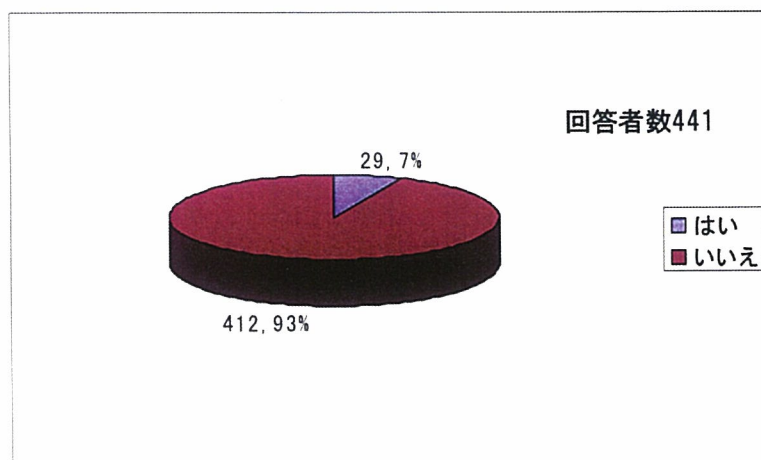
② NSAID胃潰瘍の予防はどのようにされていますか。(複数選択可)

以前
回答数411

現在
回答数478

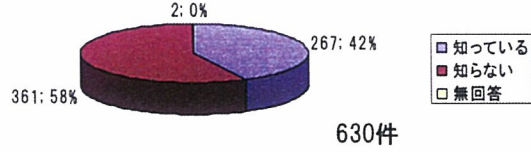


11. 診療の際、患者に胃潰瘍診療ガイドラインを資料として示したり、提供していますか。

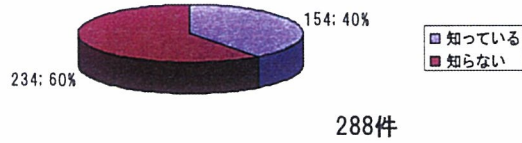


参考資料6. 第2回アンケート調査結果

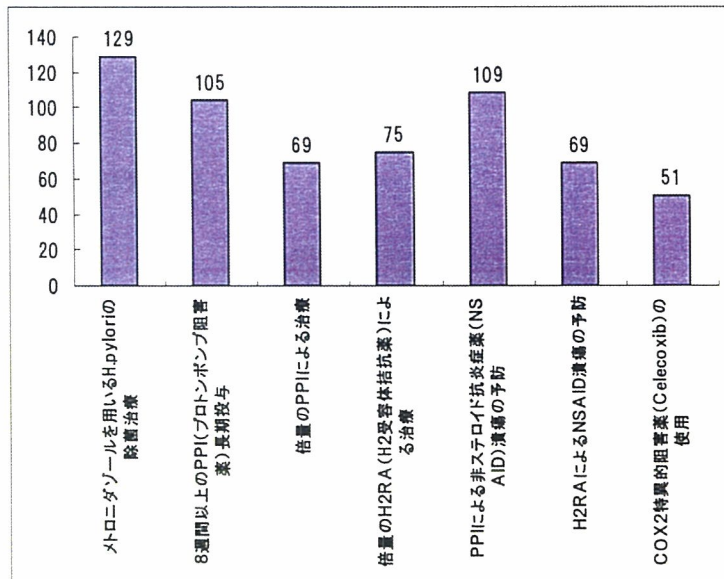
1. 「EBMIに基づく胃潰瘍診療ガイドライン」(じほう社2003年) 以下、「胃潰瘍診療ガイドライン」と略)が出版されているのをご存知ですか。」



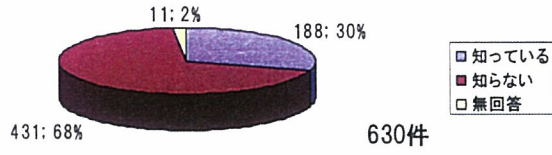
2. 「1で知っているとお答えの方にお尋ねします。「EBMIに基づく胃潰瘍診療ガイドライン」(じほう社2003年)に記載されている胃潰瘍治療について、保険適応となっていないものがあることをご存知ですか」



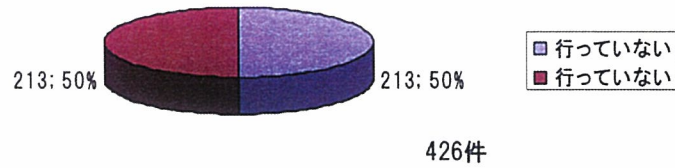
3. 「2で知っているとお答えの方にお尋ねします。それは以下のどれですか。あてはまるものをチェックして下さい(複数回答可)。」



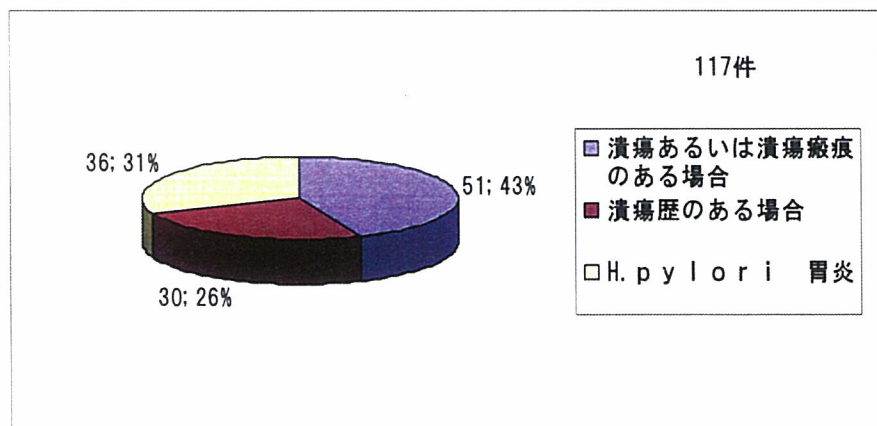
4.「欧米のガイドラインでは、NSAID潰瘍の予防にH.pylori 陽性者の除菌治療を勧めていることをご存知ですか」



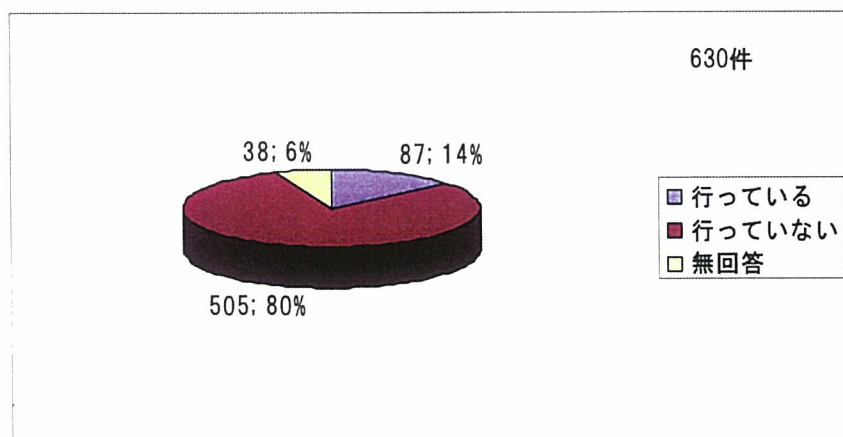
5.「4で知っているとお答えの先生にお尋ねします。 NSAID潰瘍の予防のために H. pylori 陽性患者に対して除菌治療を行っていらっしゃいますか。」



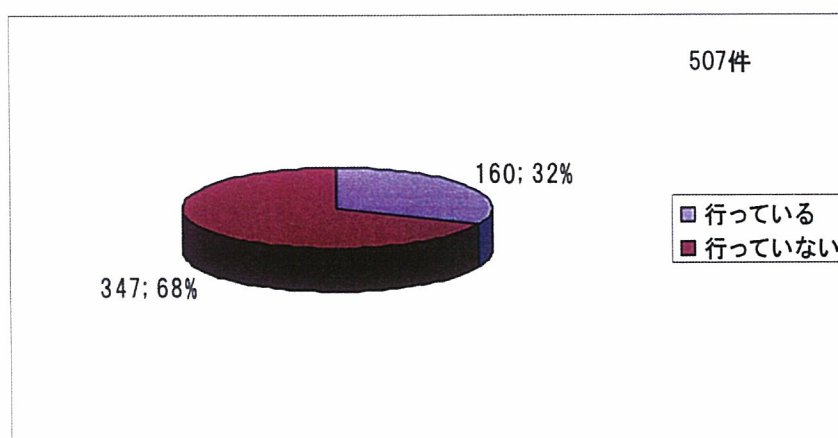
6.「5でNSAID潰瘍予防のために除菌治療を行っていると答えの先生にお尋ねします。どのような患者さんに対して除菌を行っていらっしゃいますか。」



7.「NSAID長期投与する場合、投与前に上部消化管内視鏡検査を実施していらっしゃいますか。」

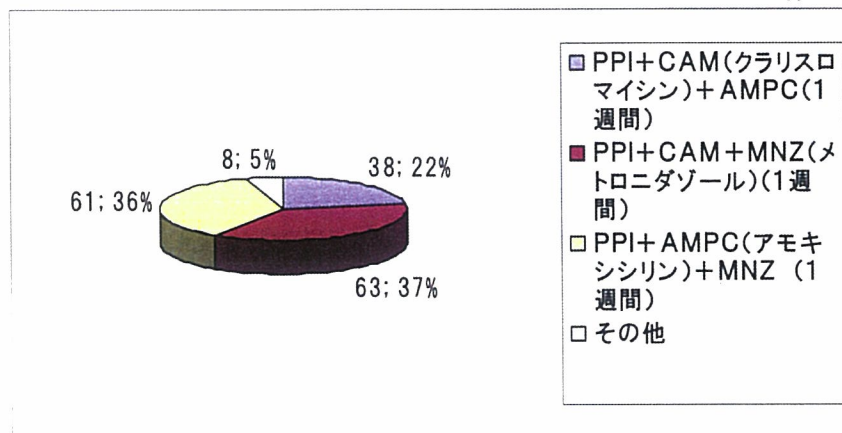


8.「除菌治療に失敗した場合の再除菌治療についてお尋ねします。 再除菌治療を行っていらっしゃいますか。」

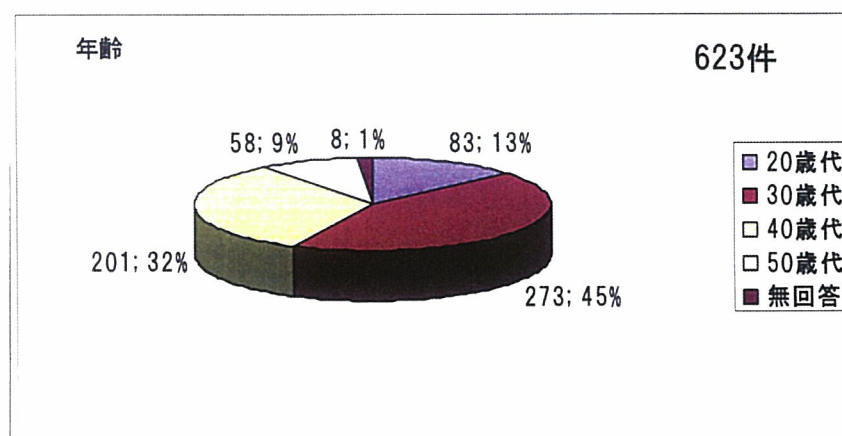


9. 「8で再除菌治療を行っていらっしゃるとお答えの先生にお尋ねします。 どのような方法で再除菌治療を行っていらっしゃいますか。」

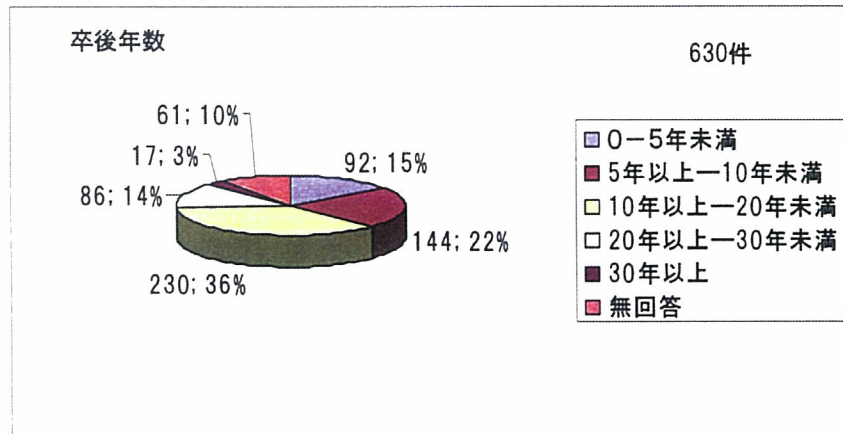
170件



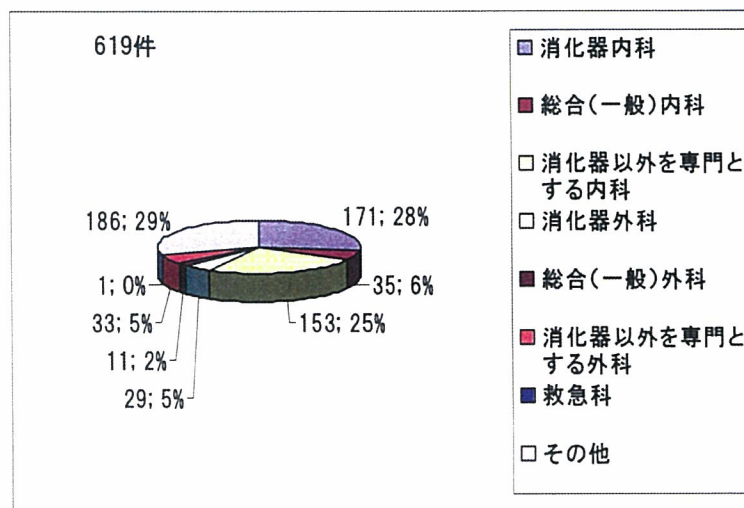
10. 先生のご年齢と医学部卒後年数につきお教えてください。



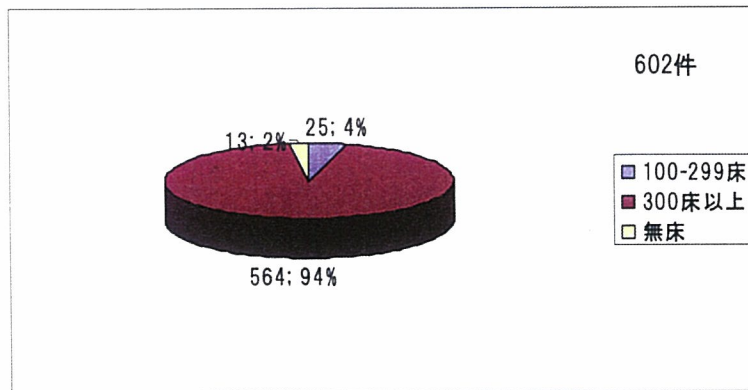
10. 先生のご年齢と医学部卒業年数につきお教えてください。



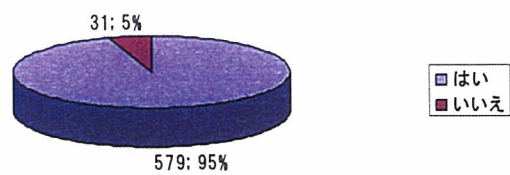
11. 先生の専門とする診療科についてお教えてください。



12. 先生のご勤務になられておられる施設の病床数を教えてください。

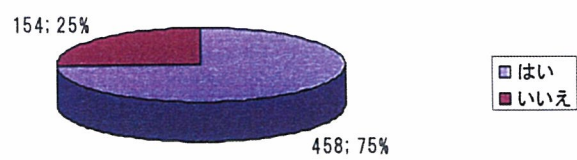


13. 大学病院ですか。



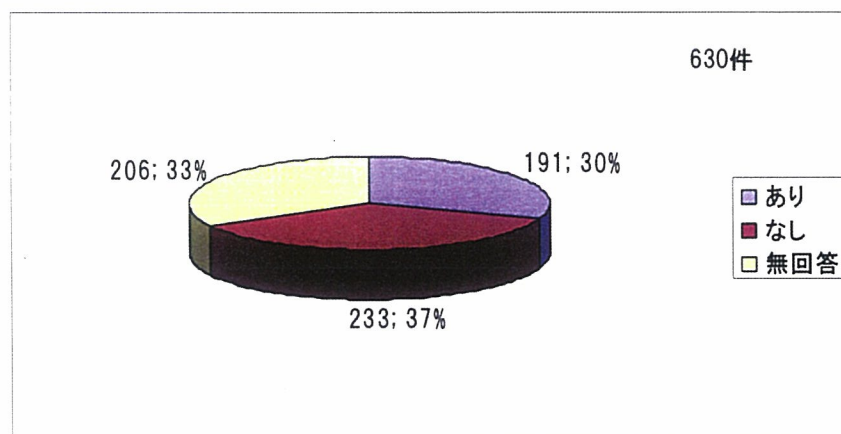
612件

14. 臨床研修指定病院ですか。

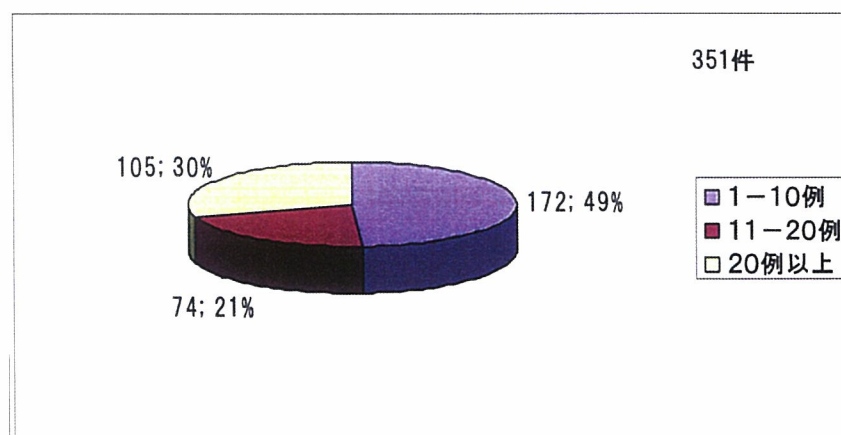


610件

15. この1年間に胃潰瘍の診療に直接携われましたか。

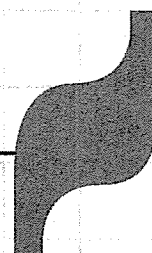


16. 1年間での胃潰瘍診療症例数はどのくらいありますか。



胃潰瘍診療ガイドライン (一般用改訂版)

菅野健太郎・佐藤貴一 自治医科大学消化器内科



はじめに	186
胃潰瘍を理解していただくための解説	186
(1) 胃はどんな形とはたらきをしているのでしょうか?	186
(2) 塩酸や消化酵素から胃はどうやって守られているのでしょうか?	187
(3) 胃潰瘍とはどんな病気なのでしょうか?	187
(4) 潰瘍患者さんはどのくらいいるのでしょうか?	188
(5) 胃潰瘍はどうしておきるのでしょうか?	189
(6) ピロリ菌はどうして潰瘍をつくる原因となるのでしょうか?	189
(7) どんなお薬が潰瘍の原因となるのでしょうか?	191
(8) 喫煙やストレスは潰瘍の原因とならないのでしょうか?	191
(9) 胃潰瘍になるとどんな症状があらわれるのでしょうか?	193
(10) 胃潰瘍はどのように診断するのでしょうか?	194
(11) 胃のX線造影検査はどのような検査ですか?	194
(12) 上部消化管内視鏡検査はどのような検査ですか?	195
(13) ピロリ菌に感染しているかどうかはどういう方法で 診断するのですか?	195
(14) 胃潰瘍はどのような薬で治療するのでしょうか?	197
(15) 胃潰瘍にはどんな合併症があるのでしょうか?	197
胃潰瘍診療ガイドラインによる潰瘍診療	198
(1) ガイドラインでは出血性胃潰瘍の治療はどうするのでしょうか?	199
(2) ガイドラインでは胃潰瘍をどんな薬で治すことを勧めて いるのでしょうか?	199
(3) 胃潰瘍をきちんと治すためにはその他にどんな注意をすれば よいのでしょうか?	203

1 はじめに

厚生労働省の研究班（科学的根拠に基づく胃潰瘍診療ガイドラインの策定に関する研究班）によって最初に作成された胃潰瘍診療ガイドラインは2003年に一般に公表されました。その後の新たな研究の進歩と最初のガイドラインについての利用者の意見などを取り入れて、このたび厚生労働省の研究班（胃潰瘍診療ガイドラインの適用と評価に関する研究）により改定されました。この患者さんを含む一般の方々のための胃潰瘍診療ガイドラインも、改定された胃潰瘍診療ガイドラインにあわせて内容を新しくし、一般の方々が理解しやすいよう質問とそれに答える形で記載しました。

お読みになる前に、ガイドラインについてぜひご理解していただきたいことがあります。胃潰瘍診療ガイドラインは、医療を科学的根拠に基づきながらも、個々人のご意向や要望をとりいれ、治療にあたる主治医の臨床経験や技術、判断に基づいて最適な医療を行おうとする「根拠に基づいた医療」（英語ではEvidence-based Medicine：EBMといいます）の考え方に沿って作られています。診療ガイドラインは、臨床研究によって得られた成績（科学的根拠）に基づいて、多くの患者さんに対して、今の時点で最も効果が高く、また医療費もなるべくかからないですむ治療はどれなのかをお勧めしているものなのです。ですから、必ずしも診療ガイドラインは万人すべてに一律にあてはまるものではありませんし、ガイドラインで書かれている内容を、そのまま杓子定規に病状の違う個々の患者さんに一律にあてはめることを勧めているわけでもありません。ですから、患者さんによってはガイドラインでお勧めしている治療法に疑問を感じられたり、ガイドラインには書かれていない治療法をしたいと思われたりする場合もあると思います。そんな場合には主治医の先生とよく相談のうえ、ガイドライン以外の治療を選ばれる場合も当然ありうと思います。診療ガイドラインは、あくまで胃潰瘍の治療を考えていく場合の基本的な筋道をお示ししているだけで、強制する目的で作られているわけではありません。自分に最もあった治療法を選ぶ参考にしていただければ幸いです。

2 胃潰瘍を理解していただくための解説

(1) 胃はどんな形とはたらきをしているのでしょうか？

胃は、おなかの中央部からやや上方にある大きな袋状の臓器で、口に近い部分から噴門部、胃底部（穹窿部）、体部、前庭部という名前で区別されています（図1）。胃は単純な袋ではなく、何層もの組織からなる頑丈な構造となっています。一番内側の粘膜層は食べ物と接する部分で、粘液や消化酵素、塩酸などを分泌するさまざまな細胞からなりたっています。その構成は場所ごとに異なっていて、前庭部には主として粘液を分泌する幽門腺があり、体部には、酸を分泌する壁細胞、消化酵素の1つであるペプシンを分泌する主細胞などがあります。

粘膜層の外側には、食べ物を細かく砕いたり十二指腸に送り出したりするための筋肉層があって、胃の運動機能をつかさどっています。